

令和8年度 学校経営方針

1 学校教育目標

大志を抱き 共に学び 高め合い 未来を担うたくましい生徒の育成
～ 「未来を担う」ための「今」を大切にする教育の実践 ～

2 学校経営の理念

令和8年度に本村の教育大綱が発表され、3カ年で育成する生徒の姿が示された。そのための学校教育の充実として、「学校・家庭・地域が一体となって地域性を生かした教育活動を展開するとともに、未知なる問題や課題について主体的に考え、仲間と協働しながら解決に向かう深い学びを推進する」とある。

学習指導要領では「予測困難な時代に、一人一人が未来の創り手になる」とあり、先行きが不透明で予測困難なこれからの社会の中では、決まった答えのない問題に向き合いながら他と協働して答えを導き出し、自分の意思で物事を選択できる生徒の育成が求められているが、世界情勢が著しく変化している昨今、より主体的に判断する力を高めることが必要であると考えている。

そこで、今年度で3年目となる小中合同の学校運営協議会や本村教育の基軸である小中連携教育の活動を通して、保護者や地域に頼られる学校を目指し「学校・家庭・地域が一体となって村の子どもを育てる」という当事者意識をもつ教職員集団を構築する。また、ねらいや目標に対する取組や視点の可視化と共有化、振り返りと評価については今年度も継続して行い、生徒がそれぞれの活動を自分ごととして捉え、自分で判断し行動する機会を意図的に設定する。そして新たな課題を見付け解決に取り組む姿勢を育み、成功体験だけでなく失敗する体験や経験を通して、判断力を養う。

また、令和8年度から2カ年「教育課程柔軟化サキドリ研究校」に指定されたことを機に、多様な子どもたちを包摂できる教育課程の実現に向け、「調整授業時数制度」を先取りして試行し、次期学習指導要領に対応できる環境を整える。

こうした理念と、村教育の小中連携を基軸に、「学力向上」「安心・安全」「地域貢献」を3つの柱とし、保護者・地域と共に考え、共に行動する、村に貢献できる学校経営を推進していきたい。

3 目指す学校像

- (1) 生徒にとって・・・自他を尊重し、楽しく安全に過ごせる学校
- (2) 保護者や地域にとって・・・生徒の成長のために共に考え、協力したい学校
- (3) 教職員にとって・・・共に考え、個々の持ち味を発揮し協働する学校

4 目指す生徒像・教師像

- (1) 生徒
 - ① 志をもち、その実現のために粘り強く努力する生徒
 - ② 知的好奇心と向上心をもち、仲間と共に学び合う生徒
 - ③ 優しさと思いやりをもち、共に認め合える心豊かな生徒
 - ④ 「命」を大切にし、たくましい心と体をもつ生徒
 - ⑤ ふるさとを愛し、ふるさとと共に生きようとする生徒
- (2) 教師（集団）
 - ① 互いを尊重し、協調性に富む集団
 - ② 目標達成に向けて組織的に機能し、一体感をもって動く集団
 - ③ 話し合い、議論し、相談できる集団
 - ④ 生徒の人格を尊重し、成長を支える教師
 - ⑤ 自己研鑽に励む教師
 - ⑥ 生徒や保護者、地域の方から信頼される教師

5 今年度の重点施策

- (1) 村の特性を生かす
 - ① 「小中連携教育」の充実
 - ・各活動に明確な意味付け、価値付けと実践、検証
 - ② 多様な体験活動の充実
 - ・共に学び合う
 - ・「異質性」や「多様な価値観」に触れさせる
 - ③ 少人数、小規模のメリットを生かした教育の推進
 - ・一人一人に目を配る実践
 - ・一人一人が活躍できる場の設定
- (2) 主体的に学び合い、高め合う生徒を育む
 - ① 「対話」を軸とした「探究型授業」の実践
 - ・主体的な学習態度、知識・技能の確実な定着と思考力・判断力・表現力の育成
 - ・生徒主体の授業構想の推進（学び合いの重視）
 - ② 教師のコーディネート力を高め、言語活動を活性化させる授業の実践
 - ・探究心・思考力を引き出す「仕掛け」の重視
 - ③ 読解力、思考力・表現力を向上させる学習活動の推進
 - ・自己思考と自己表現、対話を行う場の設定
 - ④ 一人一人の学習状況を把握し、個に応じた指導の充実
 - ・T Tの教育的効果の向上に向けた実践
 - ・I C T機器の活用による学習の個性化の実践
- (3) 心豊かな生徒を育む
 - ① 全教育活動を通して「道徳性」を育む。
 - ② 違いを受け止め、互いに認め合える共感的な人間関係を構築し、思いやりと助け合いの心を育てる。
 - ③ 異質性や多様な生き方・考え方に触れさせる学習活動を充実させ、社会性を養う。
- (4) 健やかな心と体を育む
 - ① 基本的な生活習慣を定着させる。
 - ② 運動の楽しさを味わわせ、生涯スポーツへの関心を高める体育的行事等を推進する。
 - ③ 心身共に健康なライフスタイルづくりへの意識を高める。
- (5) 志をもち、たくましく未来を生き抜く生徒を育む
 - ① 志や希望、目標について考えさせる場を設け、将来への夢をもち、その実現のために粘り強く努力する態度を養う。
 - ② ふるさとでの学びを充実させ、ふるさと「東成瀬」を愛し、ふるさとと共に生きようとする生徒を育てる。
 - ③ 職場体験学習等の活動を充実させる。
- (6) 積極的な生徒指導の充実
 - ① 生徒の主体的な活動を促す場の設定
 - ② 日常的な生徒理解の充実
 - ③ カウンセリングの充実（スクールカウンセラーの活用）
- (7) I C Tを活用した教育の推進
 - ① 教職員の研修（タブレットの操作、オンライン授業など）
 - ② 機器を用いた授業の実践
 - ③ 校務支援システムの運用
- (8) 特別支援教育の充実
 - ① 特別支援教育の観点を取り入れた支援を要する通常学級に所属する生徒への対応
 - ② 全教職員による温かい声かけと居場所づくりを通じた支援の充実
 - ③ 特別支援教育に関する職員研修の充実